

いいの！ 子どもの貧困

「家庭の経済的困窮によって、子どもの発達や成長が阻害されてはならない」——3月9日の予算委員会、山下議員は麻生首相に迫りました。

いま、「子どもの貧困」が大きな社会問題となっています。山下議員は、母子家庭の母と子、教師、保育士、学生などから実態をききとり、国会でくりかえし取り上げました。

■就学援助

「リコーダーを1000円ショップで買ってきて、音が狂って合わない子がいる。そんな子どもの気持ちかわかりますか」

義務教育の命綱である就学援助事業が縮小され、学用品を買うにもこと欠く子どもたちが増えていくことを告発。塩谷文科相は「しっかりと対応していく」と答

「おかん、俺、友達おれへんから修学旅行いかへんよ」——そんな切ない会話をしている母子家庭の母と子を、さらなる貧困に追いやったのが生活保護の母子加算の廃止。15兆円もの補正予算を組むなら、200億円でできる母子加算の復活を真っ先に

■母子加算

■奨学金

行うべきだと舛添厚労相に迫りました。

日本の大学の初年度納付金（入学金と授業料）は、国立で80万円、私立で平均130万円。世界でも異常な高さです。そこに景気悪化が重なり、進学をきらめる高校生、退学・休学する大学生が増えています。「若者にとって学ぶ機会保障は待たなし。緊急に学費負担を軽減すべきだ」と文科相に要求しました。

■奨学金

「返済金額を考えると自信を失い、大学院への進学を断念しました」

世界では、返済する必要のない給付制の奨学金制度が主流。ところが日本の奨学金は、利子までとるうえ、返済が3カ月滞れば個人信用情報機関に通報されること（ブラックリスト化）。「奨学金制度が単なる貸金業に変質している」と厳しく批判しました。



困った人をほっとかない
あったかい人間の連帯を国の政治に!

許すな！ 非正規切り

昨春秋以降、吹き荒れる「派遣切り」「期間工切り」の嵐。山下議員は、非正規労働者と各地で懇談。大企業の違法・脱法行為を是正せよと国会で追及しました。

「ダイハツ」

ダイハツ（大阪）で長年「期間社員」として働いてきた労働者が次々と雇い止めに。しかし、ボディーを組み立てるラインの半分は期間社員。なかには正社員に仕事を教えていた10年以上のベテランもいました。実態は「常用雇用」そのものです。



「この人たちは、いつかは正社員になりたい」と歯を食いしばってがんばってきた。その不安、その悔しさを、

【住友電装】

政治家なら胸に刻んで非正規切りを止めるべきだ」と厚労相に迫りました。

トヨタに自動車部品を納入している住友電装（愛知）の違法な「派遣切り」を告発。派遣労働者と同じ製造ラインで3年以上働かせながら、途中で「組織変更」（実際は部署の名前だけ変更）して法を逃れる手口でした。「大企業があこぎなやり方をしたうえ、発覚したら労働者を解雇する。そういうことを見逃していいのか」とたどました。麻生首相は「厳正に指導したい」と答えました。

郵政問題でもがんばりました！

日本郵政 西川社長 6つの責任

- ① 「かんぽの宿」など国民財産をたたき売り
- ② ゆうちょ銀行「カード事業」など三井住友とゆ着
- ③ かんぽ生命「保険金未払い」を公表せず
- ④ 「障害者団体向け第三種郵便」の悪用を見逃す
- ⑤ 簡易郵便局の閉鎖など国民サービスの低下
- ⑥ 21万人の非正規労働者のワーキングプア化



「かんぽの宿」の安値売却、「かんぽ生命」の保険金支払い漏れなど、郵政問題を連続して追及。日本郵政社長西川公和の「責任の所在を明らかにする」と迫りました。質問はTV、新聞、週刊誌でも大きく紹介されました。

障害者福祉施設・野麦の郷を訪問



映画「ふるさとをください」のモデル「野麦の郷」（和歌山）を訪問。「ほっとけやん」と進めてきた事業や施設の案内をうけました。

地域医療まもれ 大淀病院で懇談



医師・看護師不足、病院老朽化のもとで、地域の医療を守りたいと頑張る町長さん、院長さんと懇談しました。（奈良）

台風被害の佐用町を視察



7月の台風9号の豪雨で被害をだした兵庫県佐用町をただちに訪問。現場の要望をまとめ、一刻も早い国の支援を要請しました。

生活保護の現場は大変



増加する生活保護に、予算もケースワーカーも不足する門真市・守口市を訪問。実情を聞かせていただきました。（西口勇守口市長と）

まもれ雇用促進住宅



「一枚の紙きれで出ていけと言われて不安」と「居住権を守る会」を結成した滋賀の皆さんと懇談。一緒に上京し厚労省に要請しました。

第三回日中議員会議で発言



参議院が招待した中国代表団（団長：李建国・全人代常務委員会副委員長）と、歴史認識、北東アジアの平和と安定について意見交換しました。